

## やさしさにあふれるケアを目指して

コロナ前は毎月のようにお客様の経営幹部の皆さまと直接お会いして、現実に直面している様々な具体的問題の解決や将来に向けての潜在課題について、ざっくばらんにディスカッションする場面も多くあり、私自身もたくさん学びや気づきを得させていただいておりましたが、2年以上に及ぶコロナ禍の中においてすっかりそのような機会も無くなってしまっていました。

私自身としても知らず知らずのうちにマンネリ気味になってはいないだろうかという危機感の下、この3月より直接的な面談が叶うようになったお客様を訪問させていただき、また遠方のお客様とはリモート面談をお願いしたりして、弊社に対するご期待・ご要望・ご不満などを積極的にお伺いするようにしています。その中で改めて感じますのは、お話を伺ったどのお客様からも私たちのTENA製品に対してとても高いご評価をいただけているということです。

ある北海道の特別養護老人ホームの施設長様は、「当施設では現在看取り介護の充実化に取り組んでいるのですが、そのためにはスタッフの業務時間のトレードオフが絶対に必要になりま

す。元々TENA製品は長時間使用できるオムツでしたし、最近では更に高吸収なアルティマ製品もライン追加されたことで、交換回数を今まで以上に減らすことができるようになりました。また一般的なアウトターとインナーを併用する形式ではなく、TENAは一枚使用であることから、肌トラブルの発生もより抑えられるため、安心して看取り介護に時間を使えるようになっていました。」と仰っていただきました。

お客様がオムツに求める基本機能は、「漏れないこと」と「肌にやさしいこと」の2点です。これはいつの時代も変わりません。そして「漏れないこと＝吸収力の高いこと」をお客様は長時間使用できるということによって実感され、「肌にやさしいこと」に関しては実際に肌トラブルが発生しないこと・軽減されたという事実をもって評価されます。

TENA製品はかねてより、ご利用者様のお身体の状態に合わせて選んでいただけるラインナップを揃え・安心して長時間使用できる吸収量を備え・一枚使用で肌にやさしく・インジケー



ター機能によって交換タイミングの適正化を実現できる製品でしたが、近年ではスキンケア製品を充実化させることによって、より積極的な肌ケアをご提案させていただいています。

そして今回発売した『TENAウェットウォッシュグロブ』は、入浴が困難な状況下においても、とても気持ちの良い・やさしさに溢れる清拭ケアを、簡便に実現でき、時間の生み出しにも貢献させていただいています。『TENAウェットウォッシュグロブ』を先行導入されたお客様の声をお読みいただき、是非ともご活用を検討いただければ幸いに存じます。

ユニ・チャーム メンリック株式会社  
代表取締役社長 森田 徹  
(2022年5月)

## ご利用者様の肌をすこやかに保つために私たちができること

医療機関や介護施設では感染対策だけでなく、地震や風水害などの自然災害への備えも求められるようになっていきます。介護の現場では21年度介護報酬改定で全サービス事業所に「自然災害」と「感染症（新型コロナウイルス）」の業務継続計画の策定が義務付けられました。断水などライフラインが途絶えたり、ゾーニングをすることが求められるなど、日常とは異なる状況下で、現場ではいかにご利用者様と職員の方々を守るのかを考える必要があります。

平常のケアに近い快適な生活を送るための「平時から非常時の備え」への関心は高まっています。今号では昨年11月に発売した全身に使えるスキンケア製品「TENAウェットウォッシュグロブ」を活用されている皆様へのインタビューやアンケートを通じ、使用感や使用方法、大切にされているケアへの想いをご紹介します。

また4ページでは厚生労働省が公開する「業務継続ガイドライン」や「感染対策の手引き」を参考に緊急時に行う排泄ケアなどについて解説しています。

- 2ページ 肌を想う温かで優しいケアの実践 使用者アンケート
- 3ページ TENAウェットウォッシュグロブの使い方
- 4ページ 自然災害・感染症対策と排泄を考える

(リーエング with TENA編集部)

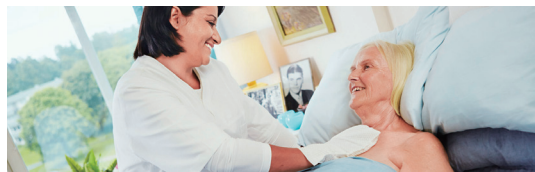
## 心地よい肌を。清潔に保つことの重要性

私たちは日頃、肌が荒れたらクリームを塗ったり、柔らかな素材の服を身に着けたりするなど健康な肌を保つために工夫をしていると思います。高齢者の場合、肌は特に繊細で少しの摩擦やズレで傷ができやすいと言われています。日ごろから肌の健康や衛生状態を保つことは非常に重要です。

実際に介護現場ではどのようなケアに取り組んでいるのか、現場の皆様の声を基に、ご紹介していきます。

# TENAウェットウォッシュグローブご使用者様のお声

昨年11月に新発売をいたしました、TENAウェットウォッシュグローブは、人と人とのふれあいを大切にしたいとの想いを大事にグローブという形にこだわり、そして衛生的な側面も重視した製品です。実際に現場でTENAウェットウォッシュグローブを活用いただいている皆様、使い方やケアに込めた想いを伺いました。



## 使いやすいグローブ型でご利用者様自身でふき取りも

(愛媛県・老健・アンビションうちこ園 様)

感染時期に隔離者が増えた時など、入浴できない人の清拭として活用しています。お湯とタオルによる清拭のような準備が不要で、短時間にケアに取り掛かることができご利用者様やスタッフの感染リスクも軽減できます。

うちこ園の信条の「まごころ」「思いやり」をもって、ご利用者様が自分らしく生活できるように、安心安全に過ごせるような支援をしていきたいと思ひ取り組んでいます。TENAウェットウォッシュグローブを活用することで、看取りの方や体調不良で入浴が難しい方にも、短時間の清拭で清潔に過ごしていただけるようなケアにつながっています。

これまで清拭の準備を含めて時間と労力が必要でしたが、大幅な時間短縮と業務効率化ができました。

また、電子レンジで温めるだけで準備ができるのも簡単でよかったです。おしぼりタイプは拭いていると丸まってしまうことがありましたが、グローブタイプは気にならずすぐに拭くことができました。

自立支援の観点からも、ご自身で身体を拭くこともできています。手を入れるだけなので、ご利用者様からも「体を拭きやすい」と好評です。



## 入浴できないときも清拭で心地良く過ごす

(広島県・福山記念病院 様)

清拭時の準備や、お湯の準備などの時間短縮を期待して導入しました。当院では主に、感染した患者さんやエンゼルケアでも活用しています。素早く準備ができて、ベッドサイドから、すぐに清拭に取り掛かることができました。特にタオルを濡らして絞る時間の短縮効果が大きかったです。グローブに厚さがあり拭きやすく、使い捨てなので処理も簡単でした。

患者さんにあたたかく、さっぱりしていただくことで、入院生活を快適に過ごしていただきたいという想いもありました。TENAウェットウォッシュグローブは肌触りが良く、患者さんに気持ちの良い清拭の提供に繋がっていると思います。

初めて使用された患者さんにも「さっぱりした!」とおっしゃっていただきました。

心身共にリフレッシュしていただき、入浴ができない時にも、さっぱりとして日々を過ごしていただき、リハビリ等を頑張っていたいただきたいです。

## ご利用者様に快適な生活を届けたい

(滋賀県・特養・樹の郷 様)

TENAウェットウォッシュグローブはグローブ型で使いやすいので、ぜひケアで活用してみたいと思いました。

日頃、ご利用者様の方にとって不快感や苦痛となる時間が少しでも軽減できるよう過ごしていただくためのケアを行っております。

TENAウェットウォッシュグローブは主に看取りの方や、体調不良で入浴が難しい方に、短い時間で清潔にして過ごしていただくことに貢献できていると思います。

また、さらさらと肌触りが心地よく、肌に滑りやすいです。タオルと比べて、清拭や入浴準備にかかる時間短縮に繋がっています。スムーズに清拭を行えることで、ケアワーカーやご利用者様にとっても快適に過ごすことができます。



## 拘縮の方への優しくあたたかなケア

(茨城県・老健・いちご苑 様)

使いたいときにレンジで温めてすぐ使える点や、使い捨てで衛生的なところに魅力を感じました。また、お湯を汲んでタオルを濡らして清拭するよりも、準備も片付けも手軽に行うことができ、1袋5枚と入っている枚数がちょうど良いと思ひ活用しました。日々のケアではご利用者様が羞恥心を感じないよう気を付け、安心してすっきりとしていただけるように心がけています。また、残存機能を生かしてできることは自分でやってみようとしています。

TENAウェットウォッシュグローブを活用することで、点滴や体調不良等で入浴できないご利用者様でも体を拭くことでさっぱりすっきりしていただきたいと思ひ活用しています。

準備や処理がスムーズにできることで清拭業務がとても楽になりました。

また、グローブ型なので、手のひら全体を使って身体を拭けるため、拘縮されいてる手足の部分もよく拭くことができます。温かいままご利用者様の体を拭くことができるので、気持ちが良いとの声がありました。清拭後の体がつるつるでなめらかでとてもよかったです。楽しく、心地よい時間を過ごしていただけるよう、日々のケアを大切にしていきたいと考えています。



## 業務効率化でより良いケアに繋げる

(大阪府・老健・大今里ケアホーム 様)

私たちの施設ではご利用者様の生活の質を維持しながら、自宅での生活に近づけた環境を整えて、ADLの維持に努めています。また、介入範囲が広い中重度のご利用者様にも、清潔保持に努め、ケアの質を落とさないよう取り組んでいます。

これまでの清拭はバケツにお湯を入れ、タオルで拭いて、乾きタオルで拭き上げており、時間や労力がかかっていましたが、TENAウェットウォッシュグローブの活用により、コロナ禍における感染対策で入浴が行えない場合や、人員確保が困難な場合でも効率的に清拭が行えるようになり、非常に重宝しています。

業務効率化でケア時間が創出出来たことで、足湯などの手厚いケアもプラス出来るようになり、ご利用者様の意欲醸成にも繋がっています。

製品はグローブ型で滑りがよく、手でなでるように拭けるので、タオルよりも力の入れ具合がわかり、細かなところもやさしく、正確に拭けますし、拘縮のある方のワキの下などの隙間でも一回の動作で拭き上げられます。清拭を嫌う方でも、衣類の襟元や裾から、さっと手をいれて拭くことも出来、非常に使い勝手の良い製品だと感じています。

また、使用の都度廃棄することが出来るので感染対策になり、タオル清拭と違って個別のケアに取り組みやすく、入浴中止によるQOL低下の抑制にもなります。拭いたらさっぱり感が出るので、ご利用者様からも「気持ちよかった」と言っていただけしています。



## 毎日の暮らしに心地よいあたたかなひとときを

# TENAウェットウォッシュグローブ

全身拭き取りクレンジングタオル／グローブタイプ 15×23cm 1袋5枚入り



### 製品特長



#### やわらかな肌触り

クレンジング成分を含み全身に使用できます。やわらかい素材で心地よい肌触り

#### 温めて使用できます

袋ごと電子レンジで温めて頂くこともできます (温め目安600W30秒)

\* 過熱ややけどには十分ご注意ください



#### 準備も片付けもシンプル

使い捨てタイプで、準備や片付けが簡単



#### グローブタイプ

グローブのように手に装着し、やさしく拭き取ります

お一人おひとりの毎日の暮らしに心地よいあたたかなひとときをお届けしたい。尊厳と快適を大切に、関わる全ての方々の“Well-being” (ウェルビーイング) の想いを込め発売いたしました。

## TENAウェットウォッシュグローブの使い方

1



温める場合は開封せずに温め、温度を確かめてからご使用ください (温め目安600W30秒) 加熱ややけどには十分ご注意ください

### 1袋5枚入りで使い切りやすい

グローブタイプなので、中に手を入れてa面、b面の両面が使用できます。

a面

b面



2



グローブを1枚ずつ取り出します。グローブが乾いてしまうのを避けるため使用後はシールをしっかりと閉めてください

3



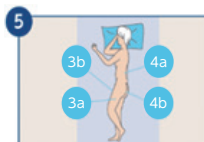
【使用手順例】  
・1枚目 a面 で顔回り、首回り  
※目の周辺は避けてください  
・1枚目 b面 で左上半身を清拭します

4



【使用手順例】  
・2枚目 a面 で右上半身  
・2枚目 b面 で右足全体  
※太ももからつま先に向かって使用することをお勧めします

5



【使用手順例】  
・3枚目 a面 で左足全体  
・3枚目 b面 で陰部  
・4枚目 a側 で背中全体  
・4枚目 b側 で臀部

6



清拭後にごみ箱に破棄してください (おむつ類と同じ取り扱いとなります) 水に溶けません。トイレには流さないで下さい

開封後は48時間以内にご使用ください

**成分** 水、PEG-8、(オレイン酸ソルビタン/デシルグルコシド) クロスポリマー、塩化Na、ラウレス硫酸Na、乳酸、ジメチコン、ステアリン酸PEG-40、ステアリン酸ソルビタン、セルロースガム、ソルビン酸、EDTA(Ca/2Na)、TEA、フェノキシエタノール、ソルビン酸K、安息香酸Na

**使用上の注意** 温めて使用される場合、記載されている時間以上の温めはおやめください。また過熱ややけどには十分ご注意ください▼水に溶けません。トイレには流さないでください▼お肌に異常が生じていないかよく注意してご使用ください。化粧品がお肌に合わないとき即ち次のような場合には、使用を中止してください。そのまま使用を続けると、症状を悪化させることがありますので、皮膚科専門医等にご相談されることをおすすめします。また傷やはれもの、しっしん等の異常がある部位には、ご使用にならないでください。①使用中、赤味、はれ、かゆみ、刺激、色抜け(白斑等)や黒ずみ等の異常があらわれた場合②使用したお肌に、直射日光があたって上記のような異常があらわれた場合▼表記した成分にアレルギーのある方はお使いにならないでください▼目に入らないようにご注意ください。目に入った場合はこすらずすぐに洗い流してください。その後目に異物感など異常が残る場合は眼科専門医へご相談されることをおすすめします▼ワイプが乾いてしまうのを避けるために、使用後はシールをしっかりと閉めてください。また開封後は48時間以内にご使用ください▼極端に高温又は低温の場所、直射日光のあたる場所には保管しないでください▼誤って飲み込んだ場合には、速やかに医師にご相談ください▼乳児・子供の手の届かない所に保管してください

# 自然災害・感染症対策と排泄を考える

2021年度介護報酬改定で全サービス事業所に自然災害と感染症の発生時の事業継続計画（BCP）の策定が義務付けられました。介護現場は猶予期間である2024年度までに作る必要があります。中でも排泄は1日約7回行われており、私たちの生活で一番多い行為です。最近ではおむつなどを必要個数より多めに注文し、日常使いしながら緊急時に対応する「ローリングストック」に取り組む事業所も増えてきました。今号では厚生労働省が公開している業務継続ガイドラインなどから、排泄や清拭に関する部分をピックアップしました。

## 自然災害

「自然災害発生時の業務継続ガイドライン」では、食事・排泄・与薬などを「被災時の厳しい状況でも、入所者・利用者の生命・健康を維持するために必ず実施しなければならない最低限の業務（重要業務）」として考えるよう求めています。

### 水道が止まったらどうする？

- ・使用できる水を「飲料水」と「生活用水」に分ける。
- ・生活用水の用途であるトイレや食事、入浴などはなるべく水を使わない代替手段を準備すること。例えばトイレであれば「簡易トイレやおむつの使用」。

### 給湯設備が使えない場合は？

- ・入浴は停止して清拭を実施する。
- ・人手が不足している場合は「失禁のある利用者のみ清拭実施」など状況も考える。

## 感染症（新型コロナウイルス）

「介護現場における（施設・通所・訪問系サービスなど）感染対策の手引き 第2版」では、入浴や排泄など場面に合わせて、感染対策を実施したケア方法等を掲載しています。日ごろからできる感染対策と、万が一感染者が発生した場合のケアを考えることが重要です。

また、感染者や濃厚接触者へのケアは感染拡大を防ぐため個別でのケアがポイントとなります。

## ケアと感染対策の視点

### 排泄介助（おむつ交換含む）

便などの排泄物には病原体が混入している可能性を考慮し、介護職員や看護職員等が病原体の媒介者とならないよう、特に注意が必要です。

おむつ交換は、排泄物に直接触れなくても必ず使い捨て手袋とエプロン（または長袖ガウン）を着用して行うことが基本です。また、手袋やエプロンは1ケアごとに取り替えるとともに、手袋を外した際には手指衛生を実施します。

おむつ交換車の使用は、感染拡大の危険性が高くなります。個々の利用者の排泄パターンに対応した個別ケアを行うように心がけます。

### 入浴

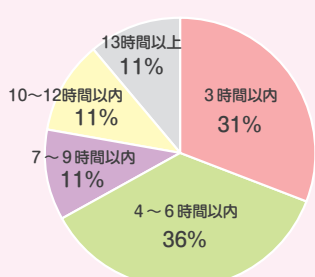
感染症にかかっている利用者で、正常でない皮膚から浸出液が出ている場合など、浴室の利用が適切ではないと考えられる場合は、清拭にするなど、浴場で感染を拡げない工夫が必要です。

記事制作協力：シルバー産業新聞社

## コラム

### 発災後3時間以内にトイレに行きたい人が約3割！

日本トイレ研究所が東日本大震災時に行ったトイレに関する調査によると、約3割の人が「発災後3時間以内にトイレに行きたくなった」と回答しました。



出典：日本トイレ研究所

トイレを我慢することはエコノミークラス症候群や血栓など様々な健康リスクが高くなります。利用者・職員の健康を守るためにも排泄環境が重要だということがわかります。

## アンケート

この度は「リーエンダ with TENA」をご覧いただき、誠にありがとうございます。皆さまからのご意見・ご感想を大切により充実した「リーエンダ with TENA」をお届けしていきたいと考えております。是非、忌憚なきご意見をお寄せください。

本アンケートはご回答頂いた方の個人情報（個人名・メールアドレス等）を記載して頂く項目はございません。また、個人の携帯端末からのアクセスであっても個人を特定する情報は収集いたしません。何卒よろしくお願いたします。



「リーエンダ with TENA vol.9」  
2022年8月末日まで